

# 1. 福井県美浜町における 文化遺産学フィールド実習の概要

諫早 直人

## 1. 本実習のねらいと経緯

文化遺産については、様々な学問分野や官・学・民が連携して取り組みがおこなわれており、その具体的な方法は実地において学ぶことが不可欠である。歴史学科では、実地で文化遺産の調査、保全、活用などについて学習することを目的とした集中講義「文化遺産学フィールド実習」を学部2回生向けに開講している。本実習では、毎年夏季休業を利用して、2泊3日の日程でフィールドワークをおこなうが、各自が対象地域において関心をもった文化遺産について課題を設定し、事前学習をおこなった上で調査に臨んでいる。

2019年度は美浜町教育政策課、美浜町歴史文化館の全面的な協力のもと、8月8～10日に福井県三方郡美浜町において実習を実施した（写真1・2）。美浜町は京都の北東隣、福井県南西部に位置し、三方五湖（国指定名勝）や興道寺廃寺跡（国指定史跡）、精霊船送り（県指定無形民俗文化財）など様々な文化遺産が点在する風光明媚の地である。本実習では美浜町に所在する様々な文化遺産について、建造物、古記録、埋蔵文化財、景観、民俗といったカテゴリーごとの取り組みを学ぶとともに、そのいくつかについて実地調査を実施した。ここからは、その成果の一端を紹介する。

なお、8月10日の文化遺産周遊実験および文化遺産周遊実験に関するワークショップについては、美浜町歴史文化館の2019年度第6回みはま土曜歴文講座「京都府立大学のフィールド調査に参加する！～学生とともに美浜町の文化遺産を調べよう～」を兼ねた（本書、第IV部第3章参照）。また福井新聞（2019年8月10日）、中日新聞（2019年8月15日）、日刊県民福井（2019年8月16日）や『みはま歴文だより』Vol.10（美浜町歴史文化館2019）、「ふるさと昔よもやま話（90）」『広報みはま』No.585（美浜町2019）において本実習についての紹介がなされた。また、2020年3月14日に美浜町歴史文化館において第10回みはま土



写真1 多仁照廣氏による講義（若狭路文化研究所にて）



写真2 精霊船について説明を聞く（菅浜区海のくらし館にて）

曜歴文講座「京都府立大学フィールド調査報告会 2020in 美浜～調査から見たみはまの文化遺産～」と題して教員・学生による発表をおこない、調査成果を地元に戻す予定であったが、新型コロナウイルス（COVID-19）の流行を受け、残念ながら中止となった。

## 2. 実習の主な行程

### ・ 8月8日（木）

13：00 【共通】 美浜町歴史文化館にて美浜町職員によるガイダンスおよび展示見学

14：30 【個別】 ①美浜町歴史文化館所蔵民具・考古資料の調査

②美浜町歴史文化館所蔵近世文書の調査

③彌美神社の建築調査、聞き取り調査

### ・ 8月9日（金）

9：00 【共通】 若狭路文化研究所見学

13：00 【共通】 菅浜区海のくらし館見学

14：00 【個別】 ①菅浜製塩遺跡踏査

②精霊船関連聞き取り調査

③須可麻神社・麻気神社の建築調査、集落景観調査

### ・ 8月10日（土）

8：40 【共通】 文化遺産周遊実験

11：00 【共通】 美浜町歴史文化館にて文化遺産周遊実験に関するワークショップ

## 3. 参加者

2回生	荒井元希	安部萌花	今村美賀子	土井悠起	長谷川巴南	前田遼太
	宮田 匡	村井九樹	守田 悠	吉永健人	石橋茉莉	
大学院生	有賀陽平	岡田大雄				
教員	諫早直人	岸 泰子	東 昇	菱田哲郎		

### 謝 辞

本実習の実施に際して、下記の方々・機関には大変お世話になりました。末筆ながら御礼申し上げます。

海のくらし館 須可麻神社・麻気神社 美浜町教育政策課 美浜町菅浜区 美浜町歴史文化館 彌美神社  
若狭路文化研究所

石丸好通 奥村香子 加藤美千代 金森浩美 川畑貴寛 塩浜洋一 田中雅実 多仁照廣 中村勝

中村昇 浜野健治 松葉竜司 森井守 山口かおり 吉本稔 美浜町歴史文化講座受講生の皆様

(以上、敬称略)